

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」

赤 あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

9月特別号 平成27年9月1日(火)発行

《 いのら チャレンジ (挑戦) 感動 感謝 》

ハッキナツ子 元気にきばりよ!

2学期が今日からはじまります。夏休み期間中に子どもたちの大きな事故やけが等の報告がなく、ホッとしているところです。きっと、家庭での生活がきちんとなされ、子どもたちそれぞれがいろいろなことを経験し、有意義な夏休みを過ごせたことと思います。

1学期終了時に1年生2名の転出がありました。1年生1名と3年生1名の転入があり、106名で2学期を迎えることができます。新しい友達といっしょにがんばってほしいものです。

2学期は、すもう大会、体育館落成式、大運動会、陸上記録会、学習発表会、持久走大会など多くの行事を予定しています。普段の学習活動もあり、また、地域の行事も多くあります。子どもたちは、大変な時期を迎えると言った方がいいのでしょうか。

ここで、「大変」と聞けば「疲れる」「きつい」「難しい」というイメージを思い浮かべることでしょう。やはりネガティブなイメージを持つ人が、多いのではないのでしょうか。しかし、「大変」という漢字は「大きく変わる」と書きます。つまり、大変なことは「自分を大きく変えること」です。「大変だな」と感じたときは、自分を大きく変えるチャンスです。たしかに大変ですが、だからこそいいのだと思います。きちんと乗り越えられれば、自分が大きく変わっていることでしょう。

そこで、2学期に子どもたちにがんばってほしいことは、『前向きにチャレンジ・努力する』ということです。そのためには、

- 1 目標を決める。(目標は、やさしすぎず、難しすぎないものに)
- 2 目標に向かってチャレンジする。(やらずに無理はダメ!まずやってみる!)
- 3 目標達成のために努力する。(いろいろな方法を考え、できる限りの努力を!)
- 4 努力したことを反省し、次の目標を決める。(プラス思考で!)

という4つのことをがんばってほしいと思います。

今年10月で42歳になりながら、現役大リーガーとして活躍しているイチロー選手の言葉をいくつか紹介します。

「何事も前向きに行動することが、可能性を生むんです。」

「そりゃ、僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。誰だってそうじゃないですか。つらいし、大抵はつまらないことの繰り返し。でも、僕は子どものころから目標を持って努力するのが好きなんです。だってその努力が結果として出るのはいずれじゃないですか。」

「僕はいつも一生懸命プレーしていますが、今日はよい結果が出なかった。でも、だからといって後悔もしていないし、恥ずかしいとも思っていません。なぜなら、できる限りの努力をしたからです。」

「結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。」

イチロー選手の「何事も前向きに」「努力するのが好き」「できる限りの努力をした」「あきらめない姿勢」といった言葉に元気ややる気もらいました。やる前から「無理だ、できない」というやらないよりは、イチロー選手のように目標を決めてできる限りの努力をするハッキナツ子であってほしいと思います。

「できる、できる、必ずできる」「きばりよ!ハッキナツ子」

